

# 20 白樺林の再生ガイドラインを作成



WebA°-ジ°

## 技術のポイント

岩手県久慈市山形町の平庭高原では、広大な白樺林(シラカンバ林)が有名で観光資源ともなっていますが、シラカンバが高齢化して衰退してきたため、若返りを図りたいという要望が地元から上がっていました。そこで、令和3年度から3年をかけてシラカンバの種子散布量、稚樹の更新に必要な伐採面積、伐採した際の土砂移動量等を調査し、白樺林を再生させるためのガイドラインとなる「平庭高原白樺林再生に向けた技術指針」を久慈市の依頼で作成しました。

## 連携・橋渡しの方向

本ガイドラインは、平庭高原の白樺林再生事業における技術指針として利用されます。なお、ガイドラインの内容は予備的な伐採試験地でのフィードバックを採り入れながら改訂し、他地域でも応用可能なものにしていきたいと考えています。

## 詳細情報

- 研究成果：<https://www.ffpri.affrc.go.jp/research/saizensen/2024/20240416.html>
- 論文等：東北森林科学会誌，29(1)，1-8（2024）、岩手の林業，（2021.3）

## 担当者

東北支所・酒井 敦



図1 平庭高原のシラカンバ林

国道に沿い4kmにわたってシラカンバ林の景観が楽しめましたが、今や衰退の危機にあります。



図2 伐採試験地に発生したシラカンバの幼樹

シラカンバの発生と成長には明るさが必要です。試験的に70m四方の面積を伐採した後に生えてきた幼樹。

## 謝辞

本研究は、久慈市から委託を受け実施しました。

## 森林産業実用化カタログ2025



### お問合せ先

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所  
社会実装推進・知財戦略室

E-mail: [sangaku@ffpri.affrc.go.jp](mailto:sangaku@ffpri.affrc.go.jp)

URL: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/sangakukan/index.html>